

令和6年度特別支援教育就学奨励費にかかる提出書類一覧

- ①特別支援教育就学奨励費にかかる収入額・需要額調書
- ②学用品等購入費申出書(4～6月分)
※②のみ提出期限：令和6年7月5日(金)
- ③交通費所要額調書 ※該当者のみ
- ④自転車預かり証明書 ※有料駐輪場利用者のみ

提出期限 令和6年5月17日(金)

※就学奨励費の一部または全てを辞退される場合

- ①特別支援教育就学奨励費にかかる収入額・需要額調書の下部「一部辞退」または「全部辞退」どちらかにご記入のうえ、5月2日(木)までに事務室へ提出してください。その場合、今回の他の書類の提出は必要ありません。

【提出場所】

事務室

【書類作成上の注意】

すべて書類は、黒色のペンまたはボールペンで記入してください。

(鉛筆、消えるボールペンは不可)

※令和6年5月2日のPTA総会で説明をしますので、
こちらの資料一式をご持参ください。

① 特別支援教育就学奨励費にかかる収入額・需要額調書

・保護者等氏名・住所・児童生徒氏名・学年は、令和6年4月1日現在で記入してください。

「世帯の状況」欄

- ・収入のある世帯員と収入のない世帯員に分けて記入いただき、収入のない世帯員の最初に、本校在籍の生徒の記入をお願いします。記入は氏名・生年月日・在学学校名・学年を令和5年12月31日現在で世帯全員について記入してください。
- ・世帯に学生の兄弟姉妹がいる場合は、必ず在学学校名・学年記入欄に学校名、学年を記入し、その横へ特別支援学級所属の場合は(有)、普通学級の場合は(無)に丸をつけてください。

② 学用品等購入費申出書（申出書裏面を参照）

（対象品目の例）

通学用品（制服、通学用靴、雨傘、通学カバン等）

学用品（ノート、筆記用具等、辞典類、上ばき、体操服、体育館シューズ、
実習用作業服等）

※今回、提出時期毎の申出書を4枚同封しています。

（4～6月分、7～9月分、10～12月分、1～3月分の計4枚）

該当する期間の用紙に、必ずレシート、領収書等（明細書、納品書不可。コピー不可。）を添付のうえご提出ください。商品名が明確でない場合支給できない場合がありますので、購入品目の内訳・具体商品名を記載してください。

4～6月分については、申出書を受領後審査し、支弁区分認定後の第1回支払日（7月31日）に支給する予定です。

購入品が対象品目となるか不明な場合は、事務担当までお尋ねください。

申出をしない場合も、申出書裏面に署名のうえ、提出してください。

③ 交通費所要額調書 ※該当者のみ(記入例を参照)

※2・3年生については、基本的には提出不要です。

ただし、申請時の通学手段から変更がある場合は改めて申請が必要です。

- ・令和6年4月当初の状況で記入してください。提出後に通学方法を変更した場合や引っ越した場合は、新たに調書が必要ですので事務室へ申し出てください。
- ・自宅から学校までの通学経路を裏面に記入してください。(地図の添付可)
交通機関利用者は自宅から最寄りのバス停や駅、また下車後から学校までの通学経路を記入してください。自転車通学者等は、通学経路を記入してください。
- ・「区間」欄には、駅名・停留所名を正しく記入してください。
- ・「公共交通機関利用」欄は、該当の定期券へ「○」を記入してください。回数券又は片道乗車券を利用する場合は、金額を記入してください。

④ 自転車預かり証明書 ※該当者のみ(記入例を参照)

- ・自転車利用で、駐輪場の費用を負担している場合は、「自転車預かり証明書」と、金額等の確認できるレシートや領収書等を提出してください。
- ・年間を通して支払いがある場合は、四半期ごとの学用品等購入費申出書と一緒に提出をお願いします。
- ・ただし、新たに駐輪場を利用する場合は改めて申請が必要です。

問い合わせ先

岡山県立岡山瀬戸高等支援学校

事務室 担当:山本

電話(086)952-5633

FAX(086)952-5636

特別支援教育就学奨励費について

就学奨励費とは、特別支援学校へ就学する児童・生徒の保護者に対して、国や県より経済的負担の軽減を図る目的で支給される経費のことです。経費の内容は、次のとおりです。

教科用図書購入費	1年間使用する教科書代[実費]
通学費 (本人経費)	最も経済的な経路および方法で通学するための交通費[実費] ※支給対象は教育課程上の「授業日」のみで、 <u>長期休業日に行う部活動、ボランティア等は対象外。</u> 【交通機関利用(JR、バス等)】 利用区間の障害者割引後の定期券代 【自家用車利用】 規定によるキロ当たりのガソリン単価×通学距離 ※ <u>特別の事情がある場合に限る</u> 【自転車通学】 通学中タイヤがパンクした場合の修理代、有料自転車置場の利用料等(領収書等が必要)
職場実習費	学校外で職場実習を行うための <u>学校から実習先までの交通費</u> ※自宅から直接実習先へ行った場合は、 <u>実費額支給(ただし学校から実習先までの交通費の金額が上限)</u>
修学旅行費	修学旅行の参加に要する交通費、宿泊費(食事込)、見学料等 [遊具代を除く実費:上限あり]
校外活動等参加費	学校外に教育の場を求めて行われる学校行事等(修学旅行を除く)に参加する経費のうち、直接必要な交通費、宿泊費、見学料等 [実費:上限あり]
職場実習宿泊費	生徒が教育課程の一環として、学校外で職場実習を行うための宿泊費[実費:上限あり]
学用品等購入費 ※注	通常必要とする学用品及び通学用品の購入費[実費:上限あり]
ICT機器購入費	授業でのICT機器の使用が適当であると認められた場合のみ支給します。[実費:上限あり] ※原則現物支給
オンライン学習通信費	家庭学習等により学校が必要と認めた場合のルーター代、通信料等 [実費:上限あり]

※注…領収書を添付した申請書の提出が必要です。

■支弁区分について

世帯全員の収入を国が定めた需要額で割った算定額により、それぞれ第1区分、第2区分、第3区分に段階分けされます。区分は提出された書類で審査を行い決定します。

支給の際は、次の表のとおり、区分毎の支給割合で支給されます。

区分	教科用 図書 購入費	通学費 (本人)	職場 実習費	修学旅行費 校外活動等参加費 職場実習宿泊費	学用品等 購入費	ICT 機器 購入費	オンライン 学習 通信費
I	全額	全額	全額	(年間)限度額 修学:107,810円 校外: 24,820円 職場: 7,520円	(年間) 限度額 32,270円	(年間) 限度額 50,930円	(年間) 限度額 14,000円
II	全額	全額	全額	区分Iの 1/2	区分Iの 1/2	(年間) 限度額 50,930円	支給なし
III	全額	全額	実費の 1/2	支給なし	支給なし	(年間) 限度額 50,930円	支給なし

注)表中「全額」とは補助対象となる経費の全額であって、所要経費が全て補助されるわけではありません。

■支給について

四半期毎に、次の予定で支給されます。

1-四半期(4~6月分)	令和6年 7月31日
2-四半期(7~9月分)	令和6年10月31日
3-四半期(10~12月分)	令和7年 1月31日
4-四半期(1~3月分)	令和7年 4月25日

令和6年度 特別支援教育就学奨励費にかかる収入額・需要額調書

◎二重線枠内は今年度の状況、太線枠内は前年（令和5年12月末日現在）の状況を記入してください。

保護者等氏名（署名又は記名押印） 印	住所 前年12月末日の住所が異なる場合は以下の（ ）内に記入（ ）	児童・生徒氏名	学校名 岡山県立岡山瀬戸高等支援学校	学部・学年 職業科 年	整理番号 記入不要
---------------------------	--	---------	---------------------------	--------------------	------------------

この調書の記入に当たっての留意事項	世帯員の状況						
	収入のある（※1） 世帯員氏名	生年月日	続柄	給与所得又は公的年金所得 がある場合にチェック	住所（※3） （保護者等と異なる場合のみ記入）	備考・その他の事項	
<p>この書類は就学奨励費の支給を受けるために必要なものですから、正確にありのままを記入してください。</p> <p>世帯全員の状況について、前年に収入がある方を上段（※1）に、収入がない方を下段（※2）欄に記入してください。</p> <p>（※3）収入状況についてマイナンバーを用いて市町村に照会しますので、単身赴任や県外の大学進学などで保護者等と住所が異なる方は必ず住所の記入をお願いします。</p> <p>また、前年分の収入について、確定申告が必要であるにもかかわらず未済である場合は、速やかに申告手続きを済ませておいてください。（場合によっては収入状況をお尋ねしたり、追加書類の提出をお願いすることがあります）</p> <p>（※4）世帯員のうち、前年に特別支援学校または小学校・中学校に在籍されていた方について、学校名と学年、特別支援学校または特別支援学級在籍の有無を必ず記入してください。</p>		大・昭 平・令 年 月 日	父・母 祖父・祖母 その他（ ）	<input type="checkbox"/> 給与所得 <input type="checkbox"/> 公的年金			
		大・昭 平・令 年 月 日	父・母 祖父・祖母 その他（ ）	<input type="checkbox"/> 給与所得 <input type="checkbox"/> 公的年金			
		大・昭 平・令 年 月 日	父・母 祖父・祖母 その他（ ）	<input type="checkbox"/> 給与所得 <input type="checkbox"/> 公的年金			
		大・昭 平・令 年 月 日	父・母 祖父・祖母 その他（ ）	<input type="checkbox"/> 給与所得 <input type="checkbox"/> 公的年金			
		大・昭 平・令 年 月 日	父・母 祖父・祖母 その他（ ）	<input type="checkbox"/> 給与所得 <input type="checkbox"/> 公的年金			
		大・昭 平・令 年 月 日	父・母 祖父・祖母 その他（ ）	<input type="checkbox"/> 給与所得 <input type="checkbox"/> 公的年金			
		大・昭 平・令 年 月 日	父・母 祖父・祖母 その他（ ）	<input type="checkbox"/> 給与所得 <input type="checkbox"/> 公的年金			
		収入のない（※2） 世帯員氏名	生年月日	続柄	在学学校名・学年（※4） （特別支援学校または特別支援学級の在籍）	住所（※3） （保護者等と異なる場合のみ記入）	備考・その他の事項
		大・昭 平・令 年 月 日		本人	（有・無）		
		大・昭 平・令 年 月 日		兄・姉・弟・妹 その他（ ）	（有・無）		
	大・昭 平・令 年 月 日		兄・姉・弟・妹 その他（ ）	（有・無）			
	大・昭 平・令 年 月 日		兄・姉・弟・妹 その他（ ）	（有・無）			
	大・昭 平・令 年 月 日		兄・姉・弟・妹 その他（ ）	（有・無）			
	大・昭 平・令 年 月 日		兄・姉・弟・妹 その他（ ）	（有・無）			
	大・昭 平・令 年 月 日		兄・姉・弟・妹 その他（ ）	（有・無）			

<以下の欄は就学奨励費を辞退する場合のみ記入>

一部 辞 退	私は、世帯の収入が関係法令の定める需要額基準の2.5倍以上であると認め、令和6年度の就学奨励費のうち交通費、教科用図書購入費及び学用品・通学用品購入費（ICT加算分に限り）以外の経費の支給を辞退します。 保護者氏名 印	全部 辞 退	私は、令和6年度の就学奨励費の支給を全額辞退します。 保護者氏名 印
--------------	--	--------------	---

令和6年度 特別支援教育就学奨励費にかかる収入額・需要額調書

◎二重線枠内は今年度の状況、太線枠内は前年（令和5年12月末日現在）の状況を記入してください

太
枠
1

保護者等氏名（署名又は記名押印） 瀬戸 五郎 瀬戸	住所 岡山市東区瀬戸町江尻1326 前年12月末日の住所が異なる場合は以下の（ ）内に記入（ ）	学校名	学部・学年	整理番号 記入不要
--	---	-----	-------	--------------

この調書を提出するときの住所を記入する。令和5年12月31日と住所が異なる場合は（ ）内に旧住所を記入する。

令和5年12月31日現在の同一生計世帯の世帯員について、収入がある場合は上へ、収入がない場合は下へ記入する。

この調書の記入に当たっての留意事項	世帯員の状況					備考・その他の事項	
	収入のある（※1）世帯員氏名	生年月日	続柄	給与所得又は公的年金所得がある場合にチェック	（例）		
<p>この書類は就学奨励費の支給を受けるために必要なものですから正確にありのままを記入してください。</p> <p>世帯全員の状況について、前年に収入がある方を上段（※1）に、収入がない方を下段（※2）欄に記入してください。</p> <p>（※3）収入状況についてマイナンバーを用いて市町村に照会しますので、単身赴任や県外の大学進学などで保護者等と住所が異なる方は必ず住所の記入をお願いします。</p> <p>（※4）世帯員のうち、前年に特別支援学校または小学校・中学校に在籍されていた方について、学校名と学年、特別支援学校または特別支援学級に在籍の有無を必ず記入してください。</p>	瀬戸 五郎	大・昭 ○年 △月 □日	父・母 祖父・祖母 その他（ ）	<input checked="" type="checkbox"/> 給与所得 <input type="checkbox"/> 公的年金			
	瀬戸 花子	大・昭 ○年 △月 □日	父・母 祖父・祖母 その他（ ）	<input checked="" type="checkbox"/> 給与所得 <input type="checkbox"/> 公的年金			
	岡山 春男	大・昭 ○年 △月 □日	父・母 祖父・祖母 その他（ ）	<input type="checkbox"/> 給与所得 <input checked="" type="checkbox"/> 公的年金			
	岡山 夏子	大・昭 ○年 △月 □日	父・母 祖父・祖母 その他（ ）	<input type="checkbox"/> 給与所得 <input checked="" type="checkbox"/> 公的年金			
		大・昭 年 月 日	父・母 祖父・祖母 その他（ ）	<input type="checkbox"/> 給与所得 <input type="checkbox"/> 公的年金			
		大・昭 年 月 日	父・母 祖父・祖母 その他（ ）	<input type="checkbox"/> 給与所得 <input type="checkbox"/> 公的年金			
	収入のない（※2）世帯員氏名	生年月日	続柄	在学学校名・学年（※4） （特別支援学校または特別支援学級の在籍）	住所（※3） （保護者等と異なる場合のみ記入）		
	本校在籍の生徒を記入	瀬戸 太一	大・昭 ○年 △月 □日	本人	岡山瀬戸高等支援学校〇年 (有・無)		
		瀬戸 秋男	大・昭 ○年 △月 □日	兄・姉・弟・妹 その他（ ）	(有・無)	岡山市北区〇〇1-2-3	
		瀬戸 冬子	大・昭 ○年 △月 □日	兄・姉・弟・妹 その他（ ）	岡山市立第1小学校6年 (有・無)		
		大・昭 年 月 日	兄・姉・弟・妹 その他（ ）	(有・無)			
		大・昭 年 月 日	兄・姉・弟・妹 その他（ ）	(有・無)			
		大・昭 年 月 日	兄・姉・弟・妹 その他（ ）	(有・無)			

令和5年12月31日現在なので学校名、学年は1つ前になる。

もれなく記入すること！
小・中学校の場合は、特別支援学級に在籍の有無を必ず記入する。

就学奨励費の支給を一部または全部について、辞退する場合のみ、記入する。

<以下の欄は就学奨励費を辞退する場合のみ記入>

一部辞退	私は、世帯の収入が関係法令の定める需要額基準の2.5倍以上であると認め、令和6年度の就学奨励費のうち交通費、教科用図書購入費及び学用品・通学用品購入費（ICT加算分に限る）以外の経費の支給を辞退します。	保護者氏名	一部辞退する場合のみ記入	印	全部辞退	私は、令和6年度の就学奨励費の支給を全額辞退します。	保護者氏名	全部辞退する場合のみ記入
------	---	-------	---------------------	---	------	----------------------------	-------	---------------------

太
枠
2

太
枠
3

提出〆切：令和6年7月5日

学用品・通学用品購入費申出書（4～6月分）

学用品・通学用品として必要となった経費を、次のとおり申し出ます。

学 年 第 _____ 学年

児童生徒氏名 _____

保護者氏名 _____

(4～6月分) (7～9月分)・(10～12月分)・(1～3月分) (〇をつけてください)

全 _____ 枚中 _____ 枚目

No.	品 名	数量	金額（税込）	対象金額
				※記入不要
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
合 計			円	円

支弁区分（限度額） I（32,270円） ・ II（16,135円） ・ III（支給なし）

※裏面に対象品目の例を記載しているので、参考にしてください。

【支給額の算定】

対象金額+支給済額>限度額ならば 限度額-支給済額 対象金額+支給済額<限度額ならば 対象金額

●この用紙は4月～6月中に購入したものを申請する時にご使用ください。

提出締切：令和6年7月5日（金）

※購入日（領収書の発行日）が令和6年3月17日以降のものが対象です。

ただし、新2年生が1年生時に購入した専門コース用のユニフォームは、対象となります。

※3月17日～3月31日に購入した物は新年度使用するための物のみとみなします。

※領収書・レシートの空欄に、表の一覧表の領収書番号を合うように記入してください。

※領収書・レシートは左の枠内に貼り付けてください。

（必ず原本を貼り付けてください。コピーでは支給できません。）

【対象品目の例】

学用品（ノート、筆記用具等、体育館シューズ、上ばき、実習用作業服 等）

通学用品※（制服、通学靴、雨傘、通学カバン 等）

【対象外品目の例】

学校以外の日常の場でも使用するもの（下着、靴下、自転車 等）

生徒全員が購入する必要のない、個人が補助的に使用するもの（学習参考書、練習用具 等）

修学旅行や職場実習等、学校行事のために購入したもの

部活動で使用するもの（部活用バッグ、部活用シューズ 等）

※この用紙に通学や実習にかかる交通費についての記入・領収書の添付はしないでください。

※領収書・レシートへ「宛名」「商品名」が記入されていることを必ず確認してください。

レシートで購入物品が判別できない場合、表に商品名を書かれていても支給できません。

（例：レシートに「イリョウヒン」と記載がある場合→「カッターシャツ」等の具体名が必要）

記載がない場合は、レシートの空欄へボールペンで必ず追記しておいてください。

※ 申ししない場合は下へ署名をお願いします。

私は、学用品・通学用品購入費の申出はいたしません。

令和 年 月 日

児童生徒氏名 _____

保護者氏名 _____

学用品・通学用品購入費申出書（7～9月分）

学用品・通学用品として必要となった経費を、次のとおり申し出ます。

学 年 第 _____ 学年

児童生徒氏名 _____

保護者氏名 _____

(4～6月分)・(7～9月分)・(10～12月分)・(1～3月分) (○をつけてください)

全 枚中 枚目

No.	品 名	数量	金額（税込）	対象金額
				※記入不要
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
合 計			円	円

支弁区分（限度額） I（32,270円） ・ II（16,135円） ・ III（支給なし）

※裏面に対象品目の例を記載しているので、参考にしてください。

【支給額の算定】

対象金額+支給済額>限度額ならば 限度額-支給済額

対象金額+支給済額<限度額ならば 対象金額

●この用紙は7月～9月中に購入したものを申請する時にご使用ください。

提出締切：令和6年10月4日（金）

※領収書・レシートの空欄に、表の一覧表の領収書番号を合うように記入してください。

※領収書・レシートは左の枠内に貼り付けてください。

（必ず原本を貼り付けてください。コピーでは支給できません。）

【対象品目の例】

学用品（ノート、筆記用具等、体育館シューズ、上ばき、実習用作業服 等）

通学用品※（制服、通学靴、雨傘、上ばき、通学カバン 等）

【対象外品目の例】

学校以外の日常の場でも使用するもの（下着、靴下、自転車 等）

生徒全員が購入する必要のない、個人が補助的に使用するもの（学習参考書、練習用具 等）

修学旅行や職場実習等、学校行事のために購入したもの

部活動で使用するもの（部活用バッグ、部活用シューズ 等）

※この用紙に通学や実習にかかる交通費についての記入・領収書の添付はしないでください。

※領収書・レシートへ「宛名」「商品名」が記入されていることを必ず確認してください。

レシートで購入物品が判別できない場合、表に商品名を書かれていても支給できません。

（例：レシートに「イリョウヒン」と記載がある場合→「カッターシャツ」等の具体名が必要）

記載がない場合は、レシートの空欄へボールペンで必ず追記しておいてください。

※ 申ししない場合は下へ署名をお願いします。

私は、学用品・通学用品購入費の申出はいたしません。

令和 年 月 日

児童生徒氏名 _____

保護者氏名 _____

提出〆切：令和7年1月10日

学用品・通学用品購入費申出書（10～12月分）

学用品・通学用品として必要となった経費を、次のとおり申し出ます。

学 年 第 _____ 学年

児童生徒氏名 _____

保護者氏名 _____

(4～6月分)・(7～9月分)・**(10～12月分)**・(1～3月分) (〇をつけてください)

全 枚中 枚目

No.	品 名	数量	金額（税込）	対象金額
				※記入不要
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
合 計			円	円

支弁区分（限度額） I（32,270円） ・ II（16,135円） ・ III（支給なし）

※裏面に対象品目の例を記載しているので、参考にしてください。

【支給額の算定】

対象金額+支給済額>限度額ならば 限度額-支給済額

対象金額+支給済額<限度額ならば 対象金額

●この用紙は10月～12月中に購入したものを申請する時にご使用ください。

提出締切：令和7年1月10日（金）

※領収書・レシートの空欄に、表の一覧表の領収書番号を合うように記入してください。

※領収書・レシートは左の枠内に貼り付けてください。

（必ず原本を貼り付けてください。コピーでは支給できません。）

【対象品目の例】

学用品（ノート、筆記用具等、体育館シューズ、上ばき、実習用作業服 等）

通学用品※（制服、通学靴、雨傘、通学カバン 等）

【対象外品目の例】

学校以外の日常の場でも使用するもの（下着、靴下、自転車 等）

生徒全員が購入する必要のない、個人が補助的に使用するもの（学習参考書、練習用具 等）

修学旅行や職場実習等、学校行事のために購入したもの

部活動で使用するもの（部活用バッグ、部活用シューズ 等）

※この用紙に通学や実習にかかる交通費についての記入・領収書の添付はしないでください。

※領収書・レシートへ「宛名」「商品名」が記入されていることを必ず確認してください。

レシートで購入物品が判別できない場合、表に商品名を書かれていても支給できません。

（例：レシートに「イリョウヒン」と記載がある場合→「カッターシャツ」等の具体名が必要）

記載がない場合は、レシートの空欄へボールペンで必ず追記しておいてください。

※ 申出しない場合は下へ署名をお願いします。

私は、学用品・通学用品購入費の申出はいたしません。

令和 年 月 日

児童生徒氏名 _____

保護者氏名 _____

学用品・通学用品購入費申出書（1～3月分）

学用品・通学用品として必要となった経費を、次のとおり申し出ます。

学 年 第 _____ 学年

児童生徒氏名 _____

保護者氏名 _____

(4～6月分)・(7～9月分)・(10～12月分)・**(1～3月分)**(〇をつけてください)

全 枚中 枚目

No.	品 名	数量	金額（税込）	対象金額
				※記入不要
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
合 計			円	円

支弁区分（限度額） I（32,270円） ・ II（16,135円） ・ III（支給なし）

※裏面に対象品目の例を記載しているので、参考にしてください。

【支給額の算定】

対象金額+支給済額>限度額ならば 限度額-支給済額 対象金額+支給済額<限度額ならば 対象金額

●この用紙は1月～3月中に購入したものを申請する時にご使用ください。

提出締切：令和7年3月14日（金）（2年生）

令和7年2月14日（金）（3年生）

※2年生について、3月16日～3月31日に購入した物は新年度使用するための物とみなしますので、来年度の4～6月分でご提出ください。

※領収書・レシートの空欄に、表の一覧表の領収書番号を合うように記入してください。

※領収書・レシートは左の枠内に貼り付けてください。

（必ず原本を貼り付けてください。コピーでは支給できません。）

【対象品目の例】

学用品（ノート、筆記用具等、体育館シューズ、上ばき、実習用作業服 等）

通学用品※（制服、通学靴、雨傘、通学カバン 等）

【対象外品目の例】

学校以外の日常の場でも使用するもの（下着、靴下、自転車 等）

生徒全員が購入する必要のない、個人が補助的に使用するもの（学習参考書、練習用具 等）

修学旅行や職場実習等、学校行事のために購入したもの

部活動で使用するもの（部活用バッグ、部活用シューズ 等）

※この用紙に通学や実習にかかる交通費についての記入・領収書の添付はしないでください。

※領収書・レシートへ「宛名」「商品名」が記入されていることを必ず確認してください。

レシートで購入物品が判別できない場合、表に商品名を書かれていても支給できません。

（例：レシートに「イリョウヒン」と記載がある場合→「カッターシャツ」等の具体名が必要）

記載がない場合は、レシートの空欄へボールペンで必ず追記しておいてください。

※ 申ししない場合は下へ署名をお願いします。

私は、学用品・通学用品購入費の申出はいたしません。

令和 年 月 日

児童生徒氏名 _____

保護者氏名 _____

特別支援教育就学奨励費 交通費所要額調書

学部学年	高等部 職業科	年 年 年	幼児児童 生徒氏名		生年 月日	H	年	月	日
通学・寄宿舎 訪問の別	通学・寄宿舎・訪問			身体障害者 手帳の有無	有・無	1種・2種	療育手帳 の有無	有・無	A・B
保護者 等氏名	記名押印 又は署名			幼児児童 生徒住所					
申請日（下記事実の発生日）					申請事由				
令和	年	月	日	1. 新規（継続） 2. 住居変更 3. 通学経路・方法の変更 4. その他					
令和	年	月	日	1. 継続					
令和	年	月	日	1. 継続					

下記のとおり、通学（帰省）について届け出ます。

付添の有無	あり・なし		付添が必要な理由								
通学（帰省） 方法	区間	区分	自家用車利用 片道の距離	公共交通機関利用					回数券	片道 乗車券	
				学期 定期券	1ヶ月 定期券	3ヶ月 定期券	6ヶ月 定期券	年間 定期券			
行き	～	本人	. km								
		付添人	. km								
	～	本人	. km								
		付添人	. km								
帰り	～	本人	. km								
		付添人	. km								
	～	本人	. km								
		付添人	. km								
～	本人	. km									
	付添人	. km									

※定期券を購入する場合は購入する定期券の欄に○を記入してください。

回数券又は片道乗車券を購入する場合は、それぞれの金額を記入してください。

※帰りについては、行きと経路が同じ場合は記入不要です。

摘要	自家用車送迎の場合…児童等の送迎は通勤途中で（ある・ない）（いずれかに○を付けてください）
----	---

☆前年度から記載内容に変更が無い場合は、学年・申請日を記入し事務室へ提出してください。

※学校認定欄（保護者の方は記入しないでください。）

経費区分	経路	自家用車利用		公共交通機関利用					回数券	片道 乗車券	備考
		距離	金額	学期 定期券	1ヶ月 定期券	3ヶ月 定期券	6ヶ月 定期券	年間 定期券			
本人 経費	片道	km	円						円	円	
	往復	km	円						円	円	
付添人 経費	片道	km	円						円	円	
	往復	km	円						円	円	
令和 年 月 日 上記のとおり相違ないことを確認し、認定する。				学校長		事務 (部)長		班長		事務 担当者	
令和 年 月 日 上記のとおり相違ないことを確認し、認定する。				学校長		事務 (部)長		班長		事務 担当者	
令和 年 月 日 上記のとおり相違ないことを確認し、認定する。				学校長		事務 (部)長		班長		事務 担当者	

【参考】通学経路の略図と経路（赤線）を記入してください。
交通費がかからない方は記入の必要はありません。

【記入上の注意事項】

- 1 交通費の届出にあたっては、幼児・児童又は生徒及び保護者等が、最も経済的な通常の経路及び方法で通学（帰省）する経路を記入してください。
なお、特別な事情がある場合は、その旨を摘要欄に記入し、必要があれば証明書等を添付してください。
- 2 この書類は住居・通学経路・方法に変更等の無い限り、3年間使用します。
2年目以降は、前年度から記載内容に変更が無い場合は、学年・申請日のみ記入し事務室へ提出してください。
- 3 通学(帰省)方法欄には、通学等の順路に従い、通学（帰省）手段の別を記入し、鉄道及びバス等による場合は、会社名も記入してください。
- 4 定期券を購入する場合、それぞれの券種の欄に○印を付けてください。
回数券又は片道乗車券を購入する場合は、それぞれの金額を記入してください。
- 5 帰りについては、行きと経路が同じ場合は記入不要です。
- 6 行きと帰りで経路が異なる場合は、摘要欄にその旨理由を記入してください。
また、有料駐輪場を利用している場合は、その旨、摘要欄に記入してください。
- 7 交通費に割引のある場合（身体障害者割引等）には、その旨、摘要欄に記入してください。
- 8 ※印欄は記入する必要はありません。

特別支援教育就学奨励費 交通費所要額調書

学部学年	高等部 職業科	1 年 年 年	幼児児童 生徒氏名	瀬戸 太一	生年 月日	S ・ H	16 年 4 月 10 日
通学・寄宿舎 訪問の別	通学・寄宿舎・訪問		身体障害者 手帳の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	1種・2種	療育手帳 の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
保護者 等氏名	瀬戸 五郎		記名押印 又は署名	住所	岡山市東区瀬戸町江尻 1 3 2 6		
申請日（下記事実の発生日）				申請事由			
令和 6 年 4 月 10 日				1. 新規（継続） 2. 住居変更 3. 通学経路・方法の変更 4. その他			
令和 年 月 日				1. 継続			
令和 年 月 日				1. 継続			

下記のとおり、通学（帰省）について届け出ます。

付添の有無	あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/>	付添が必要な理由									
通学（帰省） 方法	区間	区分	自家用車利用 片道の距離	公共交通機関利用							
				学期 定期券	1ヶ月 定期券	3ヶ月 定期券	6ヶ月 定期券	年間 定期券	回数券	片道 乗車券	
行き	自転車	自宅 ~ C駅	本人	. km							
			付添人	. km							
	JR	C駅 ~ D駅	本人	. km		○					
			付添人	. km							
	徒歩	D駅 ~ 学校	本人	. km							
			付添人	. km							
帰り	~	本人	. km								
		付添人	. km								
	~	本人	. km								
		付添人	. km								
	~	本人	. km								
		付添人	. km								

【記入例2】
自転車と公共交通機関利用者
学期定期を利用

※定期券を購入する場合は購入する定期券の欄に○を記入してください。
回数券又は片道乗車券を購入する場合は、それぞれの金額を記入してください。
※帰りについては、行きと経路が同じ場合は記入不要です。

摘要	自家用車送迎の場合…児童等の送迎は通勤途中で（ある・ない）（いずれかに○を付けてください） C駅前有料駐輪場（1,000円/月）を利用しています。
----	--

☆前年度から記載内容に変更が無い場合は、学年・申請日を記入し事務室へ提出してください。

※学校認定欄（保護者の方は記入しないでください。）

経費区分	経路	自家用車利用		公共交通機関利用						備考	
		距離	金額	学期 定期券	1ヶ月 定期券	3ヶ月 定期券	6ヶ月 定期券	年間 定期券	回数券		片道 乗車券
本人 経費	片道	km	円		○					円	駐輪場 1,000円/月
	往復	km	円						円	円	
付添人 経費	片道	km	円							円	
	往復	km	円							円	
※	年 月 日	上記のとおり相違ないことを確認し、認定する。		学校長		事務 (部)長		班長		事務 担当者	
※	令和 年 月 日	上記のとおり相違ないことを確認し、認定する。		学校長		事務 (部)長		班長		事務 担当者	
※	令和 年 月 日	上記のとおり相違ないことを確認し、認定する。		学校長		事務 (部)長		班長		事務 担当者	

【参考】通学経路の略図と経路（赤線）を記入してください。
交通費がかからない方は記入の必要はありません。

自宅から乗車駅（バス停）、下車駅（バス停）から学校までの経路図を記入。
※インターネットのMapを添付可。

【記入上の注意事項】

- 1 交通費の届出にあたっては、幼児・児童又は生徒及び保護者等が、最も経済的な通常の経路及び方法で通学（帰省）する経路を記入してください。
なお、特別な事情がある場合は、その旨を摘要欄に記入し、必要があれば証明書等を添付してください。
- 2 この書類は住居・通学経路・方法に変更等の無い限り、3年間使用します。
2年目以降は、前年度から記載内容に変更が無い場合は、学年・申請日のみ記入し事務室へ提出してください。
- 3 通学(帰省)方法欄には、通学等の順路に従い、通学（帰省）手段の別を記入し、鉄道及びバス等による場合は、会社名も記入してください。
- 4 定期券を購入する場合、それぞれの券種の欄に○印を付けてください。
回数券又は片道乗車券を購入する場合は、それぞれの金額を記入してください。
- 5 帰りについては、行きと経路が同じ場合は記入不要です。
- 6 行きと帰りで経路が異なる場合は、摘要欄にその旨理由を記入してください。
また、有料駐輪場を利用している場合は、その旨、摘要欄に記入してください。
- 7 交通費に割引のある場合（身体障害者割引等）には、その旨、摘要欄に記入してください。
- 8 ※印欄は記入する必要はありません。

令和6年 月 日

自転車預かり所 御中

岡山県立岡山瀬戸高等支援学校
校長 仲達 啓一

自転車預かり証明書について（依頼）

平素より本校教育につきましてご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。
さて、標記の件についてですが、特別支援教育就学奨励費の交通費調査に必要となります
ので、下記内容の証明をお願いしたいと思います。

お忙しい中お手数をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。

- 1 自転車を預ける者 第 _____ 学年
氏名 _____
- 2 自転車預かり期間 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日から
- 3 自転車預かり金額 _____ (月額) _____ 円

上記のとおり自転車を預かっていることを証明します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

住所

電話

代表者名

⑩

お問い合わせ先

岡山県立岡山瀬戸高等支援学校

事務室 担当：山本

TEL (086) 952-5633

FAX (086) 952-5636

令和6年●月●●日

自転車預かり所 御中

岡山県立岡山瀬戸高等支援学校
校長 仲達 啓一

自転車預かり証明書について（依頼）

平素より本校教育につきましてご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。
さて、標記の件についてですが、特別支援教育就学奨励費の交通費調査に必要となります
ので、下記内容の証明をお願いしたいと思います。

お忙しい中お手数をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。

- 1 自転車を預ける者 第 2 学年
- 氏名 瀬戸 太一
- 2 自転車預かり期間 令和 6 年 4 月 8 日から
- 3 自転車預かり金額 (月額) 2,200 円

上記のとおり自転車を預かっていることを証明します。

令和 6 年 4 月 8 日

住所 岡山市東区瀬戸町瀬戸 9 1 - 2

電話 0 8 6 - 〇〇〇 - △△△△

代表者名 特別 四郎

証明印 ㊟

お問い合わせ先
岡山県立岡山瀬戸高等支援学校
事務室 担当：山本
TEL (086) 952-5633
FAX (086) 952-5636

